

議題（１）「あいち ICT アクションプラン 2015 年次レポート（最終版）」について

【委員】

この ICT アクションプラン（2015）というのは、愛知県内で進められている情報通信システムや情報通信に関するサービスについて、全部網羅されているものではないという理解でよいのか。

ここ（年次レポート）で報告しているのは、2015（年）で目標としたことがどのくらい達成したかという形。

例えば、防災関連の会議で防災情報システムが古くないかという話があった。

きちんと愛知県の情報化について、責任を持った部署があって見られているといいと思うんだけど、そういうのがないと、いろんな部署から集めてきたり戦略的にやったりするとちょっと漏れて、漏れたところが遅れているというのがあるなと思った。事務局では把握されているのかな。

【事務局】

庁内の全部局に対して、ICT で行うものとかシステム開発とかは網羅的に集めているが、前回作ったときに改修計画があるとわかっているものでないと、やりますという（内容の）プランに出にくいというのがある、漏れてくる可能性がある。

【委員】

思ったのは、これ（ICT プラン）って、前向きにこういうのをやりますとか新しいコンテンツ作りますとか、前向きなものは集まってきやすいのだけど、例えば 10 年前に作ったシステムがあって、そのシステムを更新もせずに使い続けていて、新しく改善しようとかって動きがないところは、アクションプランの網にひっかかってこない。そういうところこそ、10 年前のシステムがまだ動いていて、これどうするのっていうのがでてきているのかなという印象がありました。確かに考えてみるとアクションプランというのは前向きにやってきたこと前向きなことを評価してきたし、（ICT 戦略プラン）2020 も前向きだけど、今のやり方だと、各部署にやっていることを出してくださいって言って、出してこないと見えないなとちょっと思いました。

そういうのってセキュリティ的にも心配だし、継続もこの先 10 年もたったシステムでどうするのって状況で、担当部署としては、IT 化の流れの中で作ろうとって 10 年前に勢いで作った方がいいが、詳しい人がいないからそのままになっているといったゾンビのようなものが生まれてくるのはまずい。

【事務局】

庁内のシステムについては、全庁のシステム調査において、持っているシステムについて洗い出しはしている。その中で、使用している OS がサポート切れになりそうなものは、更新を促したり、パッチをあてるように指示したりとかいった指導はしている。

【委員】

システム的には OS についてはぎりぎりメンテしているかもしれないが、データは作ったままで更新されていないというシステムもあるように感じました。

【委員】

その辺はかなり注意しておくといいと思う。それは次の議題だけど、今後の話で、古いシス

テムなりセキュリティの管理という意味で、全庁のシステムを管理していくという観点が入るといいと思う。

2015 の年次レポートだけ見ると、「こんなにやった」というように見えるけど、小栗先生がいわれるようなことがあるなら、見直しも含めて、今後検討していただければいいと思う。

【委員】

年次レポートという形になっていて、年次レポートを 5 回繰り返してきました。じゃあ 5 年のまとめで見たらどうかと、最終回ならそういうのがあるといいと思う。前の 5 年間、その前の 5 年間とどう違うのか、課題の積み残しもあるかもしれませんが、1 年ごとだけでなく、(ICT 戦略プラン) 2020 に繋がるように。

【事務局】

昨年までは、前年のことだけをまとめていたのですが、今回の資料の作りとしては、前年やったことと 5 年間を振りかえってやったことを併記の形で、まとめた形で 1 冊の最終版としています。

【委員】

最後のまとめというのが、次の 2020 (年) に向けてのどう総括するかが大事。

自団体では、年次レポートを作成する際に、ここまでは達成した、ここはまだまだ社会課題を達成していないという書き方をするのだけど、全て順調となっていると次何をするのかと思ってしまう。順調の中でもやり切れていないとか時代の変化に乗れていないとかいう現状、手を付けていない分野が存在するとか、そういった総括コメントがあって、それを 2020 (年) に向けてどう進めていくのかというまとめかたがあってもいいのかなと思いました。

【委員】

最終総括ということもあって、数値的なおさえや「これをやりました」とかは、それはそれでいいのかなと思いますが、おそらく、これを計画としてみたときに、目標と施策ということが書いてあって、やったけども目標に対して効果があったのかとか、定性的な評価になってしましますが、そのあたりの記載があってもいいのかな。場合によっては、順調に数値目標は達成したけども、本当にこの施策に近づいたかというともうちょっとだよねというのがあるかもしれないし、数値目標は達成しなかったけど、目標からしてみると効果は発揮されたので順調であるというのもあるかもしれない。目標に対して重点施策に対してどう効果があったのかと自己評価でもいいと思いますがあるといいのかな。

こう考えると、3 ページ目に行政システムの改修を図りますとありますが、小栗先生の話にもあったように、各論としては書いていないのだけど、この目標に対しては取り残しがあるとか課題が残っているということが書いてあってもいいのかな。網羅して漏れなくというのは難しいとは思うのだけど、そういう観点で評価されると最終年としてはいいのかなと思います。

【委員】

25 ページで、まとめというかすべて順調という評価だと思うのだけど、この順調というのは、目標があってその目標を達成したかどうか指標というものはないのですね。

【事務局】

達成ではなくて、(各施策として) 初期に行おうとしていた取組が行われているという順調で、最終的な目標が達成しているかどうかは微妙。

【委員】

当初策定したときに、たとえば、「クラウドベースとした業務システムへの進化」として、43市町村でやりたかったけど、実際は28市町になったが、どこに原因があったかというのは問わなくてもいいですか。

【事務局】

口頭では説明しましたが、導入される市町村のそれぞれの事情がありまして、(県として市町村への)働きかけはするのですが、導入される場所とされない場所があったということです。

【委員】

働きかけの仕方にしても、次のプランに向けて、各市町が取組を推進できるようにという観点からすると、ここで順調という言葉が出ると、それが独り歩きしそうに思えてしまう。

【委員】

個々の取組でどうだったかということは書かれているのですが、この取組自体がもっと大きな目標のためにあったかと思うのですが。例えば、「世界と闘える愛知を支える」という目標についてはどうだったか。細分化されて個々の問題の達成度のリストになっていて、取り上げた取り組みだけですし、取り上げたのは何か大きな目標があったからかと思うのですが、どれくらい世界と闘えるようになったのか。何が足りないか、何が強くなったか。大きいところに対するまとめが最終版としてはいかがかな。

【委員】

まとめ方というのは難しいと思うのですが、(ICTアクションプラン)2015の期間の中で、これはすごかったというのが出せたらいいと思う。一つか二つでも報告書の中で光らせられると、「愛知は頑張った」と表現できるのでは。

【委員】

2011年から2015年、時代背景でいろいろなトピックがあったと思うのですが、その中で「愛知が世界で闘える何か」を、まとめのなかで反映していただければと思いました。

【委員】

いままで各委員から同じような意見で、まとめの中に、これはできたけど、これはできなかったという、定性的な評価も含めて、(ICT戦略プラン)2020に続くような橋渡しができるようなものにできないかということかと思います。

【事務局】

それぞれの施策の中で、トピックになるところ、特にその時代背景の変化をうまく反映したような施策については、ここで1段階レベルがあがりましたというようなところを選んでまとめのなかに入りたいと思います。それから、(ICT戦略プラン)2020につなげるために、新たなステージの変化に対応するところで足らなかった部分とか、前回できなかった部分について力をいれてやっていくということを総括の部分に入れていきたいと思います。